



ホンダ ステップワゴン

専用シートカバー取付説明書

この度は弊社製品をお買い上げ頂きまして、誠に有難うございます。

- * 説明書内にシートカバーの取付・取り扱い・返品等に関する注意事項等が記載されていますので、装着前に必ずお読み下さい。
- * 本書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため製品とデザインは異なります。

2520/2521/2522

シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付けられています。仮合わせの時点で製品に何らかの支障があった場合は、お買上げ頂いた販売店、または当社までご連絡ください。事前に連絡がなく装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。またお客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきますので予めご了承ください。
- 本製品は梱包時にシワが入る場合があります。ある程度は正常に取付けをおこなうことで生地が伸びシワは解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定穴やバックテーブル等）を損なわないように製造されていますので、背もたれや座面に穴加工されているタイプのシートカバーがあります。
- 万が一ご注文された商品と違う、不良品、配送中の破損等、ございましたらご連絡ください。速やかに商品を交換もしくは修理対応させていただきます。
※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間を頂く事があります。
- 箱の多少の破損、商品の細かい傷、シワ等は不具合対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。

警告 サイドエアバッグについて

- 本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ開閉部分に、SRSサイドエアバッグ対応の縫製系を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）その部分は他の部位に比べて縫製系が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかからないようにご注意ください。また、シートカバーを正しく取付けないと衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず重大な傷害に及び、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。
※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準がないため自社独自の対応規格となります。

本製品に関する注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや、本革側に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てられると、表面のツヤ変化・変形・変色の原因となります。また、高温、多湿のところ放置されると硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがきつく残る場合があります。装着されてから約1～2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管してから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用していますので、燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず各自治体の処理方法に従ってください。

シートカバー装着時の注意事項

- 当社のシートカバーはフィッティングを重視して製造しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張り過ぎると抜けたり、切れる恐れがありますのでご注意ください。
- シートカバー(スエードタイプ・本革パンチングタイプ・ECTクラッツィオ・アルカンターラセレクト)の背もたれ上部に加工されているヘッドレストの穴は生地が伸びにくいいため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
- 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着して頂くと、作業がスムーズに進みますので、当社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らな広いスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態(扉を開放されたまま)にされると、バッテリーがあがったり弱まる原因となります。
- フィッティング性を重視した当社のシートカバーを取付けた後、元に戻した際(シートカバーを取り外した際)にシート自体にシワが残る場合があります。予めご了承ください。
- 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をお掛けしますが当社までお問い合わせください。
- 当社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように製造していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。予めご了承ください。
- 取り付け時(シート本体のパーツを取り外す場合等)及び、使用時におきた車輛への損傷、車輛の不具合、人体への怪我(シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります)について、当社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、取付けを行ってください。
またいかなる場合でも商品代金、送料を保証の上限とし、それ以外の保証はできませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換取付け、取付け取り外し等の工賃、取付け等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましても一切の責任を負わないものとします。

「快適カーライフ空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

シートカバー取付補助ビニール使用方法

背もたれ部分の取り付けの際、シート本体とシートカバーの摩擦によりスムーズに入らない場合があります。その場合、付属のビニールを下記の手順で使用していただくと取り付けが容易になります。

※ベーシックシリーズには取り付け補助ビニールは付属していません。



①背もたれカバーを取り付ける前に補助ビニールを被せます。補助ビニールは後で取り外すのでカッター等で両サイドに切込みを入れて取り外し易いようにしておきます。



④ヘッドレストの台座部分を穴から取り出します。生地のはりを利用して横からもぐりこますように取り出して下さい。無理に入れると破れる恐れがありますのでご注意ください。



②背もたれのカバーをシートのラインに合わせながら被せます。肩口部分にたるみがなくなるまでしっかりと入れ込んで下さい。



⑤背もたれの曲線にたるみなくカバーを密着させながらマジックテープ部を背面と座面の間に入れ込みます。
(車種により取付方法が異なります。)



③シートカバーをしっかりと入れ込むことができたなら、ビニールを引っ張り取り外します。



⑥入れ込んだ部分を取り出しマジックテープで固定します。

コンビニフックについて

一部車種の1列目背面にあるフック部分は穴あけ加工がされておられません。フックがネジで固定されている場合、カバーを加工すれば使用することが可能です。



- ①ネジを外します。ツメで固定されている場合がありますので、取り外しには十分ご注意ください。ツメが破損すると元通りに取り付けられなくなる場合もあります。



- ②背もたれカバーを取り付けます。シート本体とカバーがずれていないかをよく確認した上で、フックの位置に切り込みをいれます。



- ③切り込み部分にフックを取り付けて完成です。

1 列目座面



①座面のラインに合わせて、カバーの位置決めをします。



④入れ込んだ生地を、座面後ろ側から引き出します。



②合わせたラインがずれないように、カバーをかぶせます。



⑤引き出した生地に付いているマジックテープで、直接座面に固定します。



③背もたれと座面の隙間に生地を入れます。



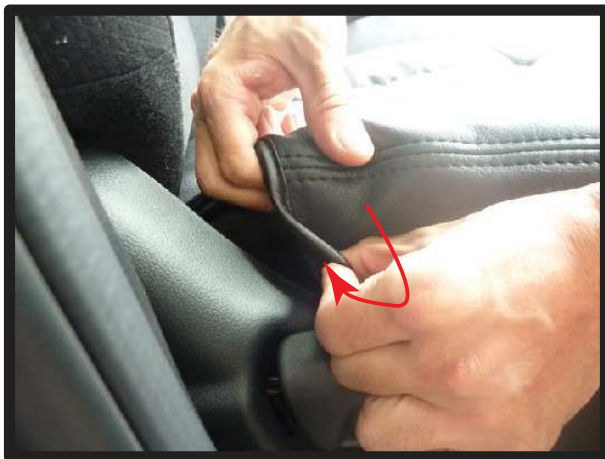
⑥サイドエアバッグ装備車は座面後ろ側に配線が出ています。④で引き出す生地はその配線の内側を通して、直接座面に固定します。



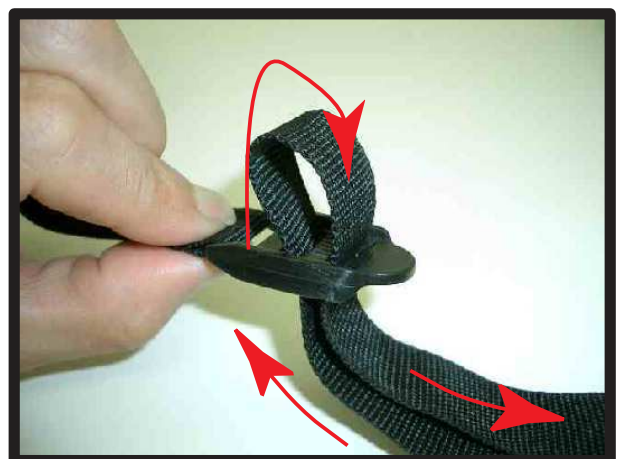
⑦側面の生地は、座面のプラスチック部の隙間に入れ込みます。



⑩ベルトを座面後ろ側で固定します。



⑧側面の図の部分（リクライニングレバー付近）の生地は、座面に巻き込むようにし、マジックテープで座面裏に固定します。



⑪ベルトの固定は、図のように真中の穴に通してから、右端の穴に通し、ベルトを引いて固定します。強く引き過ぎるとベルトが切れる場合がありますので、ご注意ください。



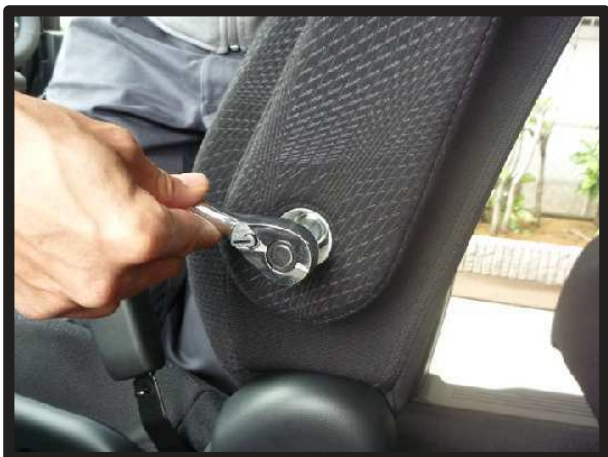
※前側から見た写真

⑨カバー前側に付いているベルトを、図のように座面下から、後ろ側へ通します。この際、ベルトは座面下の金属バーの上側を通すようにします。



⑫カバーのラインを整え、1列目座面の完成です。助手席側も同様に取り付けます。

1 列目背もたれ



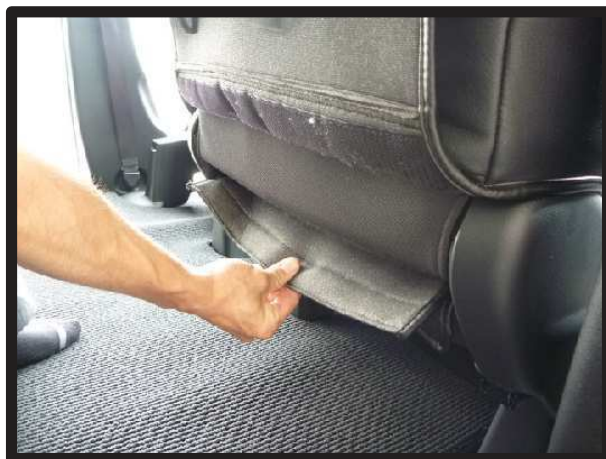
①始めにアームレストを取り外します。側面のプラキャップを外すと中にボルトがあります。ラチェット等を使用しボルトを外すと、アームレストが取り外せます。



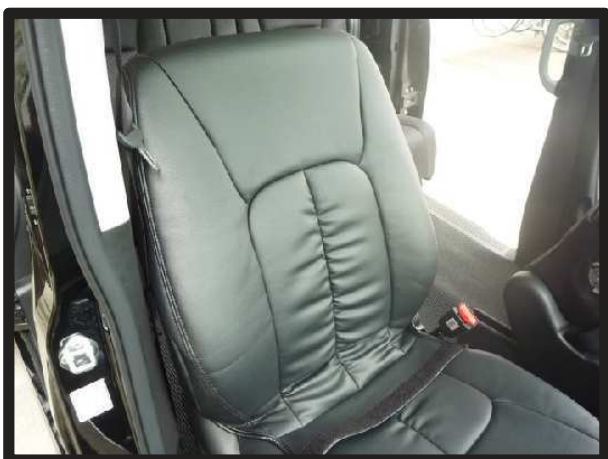
④背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



②カバーを半分ほど裏返した状態で、背もたれのラインに合わせ、かぶせます。



⑤入れ込んだ生地を後ろ側から引き出します。



③カバーを背もたれ下側までかぶせます。



⑥サイドエアバッグ装備車は、生地を引き出す際に、配線をおろして引き出します。配線は、運転席側1箇所、助手席側に2箇所あります。※図は助手席側です。



⑦図の①～③の順にカバーを背もたれに馴染ませるようにしながら、シワを無くします。



⑩カバー後ろ側の生地についているゴムに、付属のS字フックを取り付けます。



⑧ヘッドレストの台座部分を穴から取り出します。生地の伸びを利用して横からもぐり込ますように取り出します。無理に入ると破れる恐れがありますので、ご注意ください。



⑪座面裏側の金属部分に、S字フックを引っ掛けます。



⑨⑤または⑥で引き出した生地と背もたれ背面の生地をマジックテープで固定します。



⑫カバーのラインを整え、1列目背もたれの完成です。助手席側も同様に取り付けます。

2列目座面

※2列目タンブルシート車



①はじめに、シートベルトのバックルを座面と固定しているゴムから取り外します。



④合わせたラインがずれないように、カバーをかぶせます。



②運転席側は、図のように2ヶ所とも外します。



⑤背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



③座面のラインに合わせて、カバーの位置決めをします。



⑥入れ込んだ生地を、座面後ろ側から引き出します。



⑦外側面の生地を座面のプラスチック部の隙間に入れ込みます。



⑩カバー両側面のヒモを矢印のように座面下を沿わせ、後ろ側に持ってきます。



⑧シートを跳ね上げ、⑥で引き出した生地についているマジックテープで座面に直接固定します。



⑪沿わせたヒモは、座面後ろ側で、図のようにシートレールの上部に引っ掛けます。



⑨ベルトを座面とシート台座（図のプラスチック部）の隙間を通し、カバー前側のバックルで固定します。



⑫片方のヒモで、図のような輪を作ります。

2列目座面続き

※2列目タンブルシート車



⑬もう片方のヒモを6ページの⑫で作った輪に通し、引き絞り結び留めます。



⑭座面内側のシートベルトのバックル部に生地を入れ込み、ゴムで固定します。※シートを跳ね上げる際は、図のようにバックルを収納し前側のゴムで固定して下さい。



⑮側面のヒモが付いている生地はシート内側に入れ込みます。



⑯内側面のカバーは、図のように背面側の生地とマジックテープで固定します。



⑰シートベルトのバックル部に、生地を入れ込みます。カバーに付いているゴムにバックルを通します。



⑱カバーのラインを整え、2列目座面の完成です。助手席側も同様に取り付けます。

2列目背もたれ

※2列目タンブルシート車



①カバーを半分ほど裏返した状態で、背もたれのラインに合わせて、かぶせます。



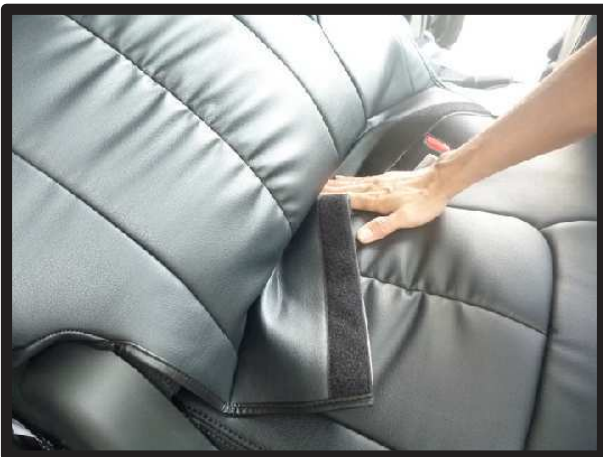
④入れ込んだ生地を後ろ側から引き出します。



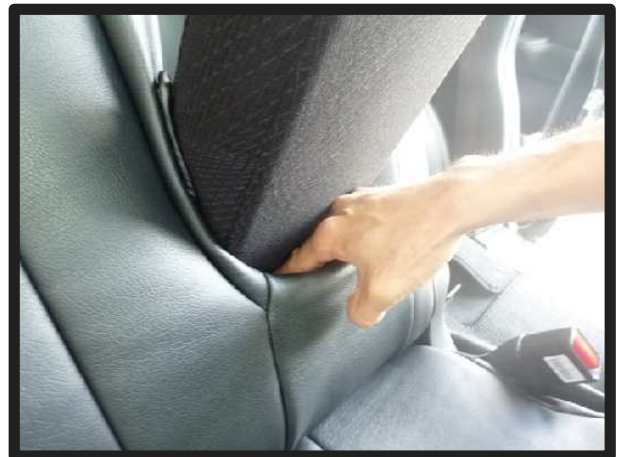
②カバーを背もたれ下側までかぶせます。



⑤1列目と同様に、ヘッドレストの台座を取り出します。
サイドエアバッグ装備車は中央ヘッドレストの台座も取り出して下さい。



③背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



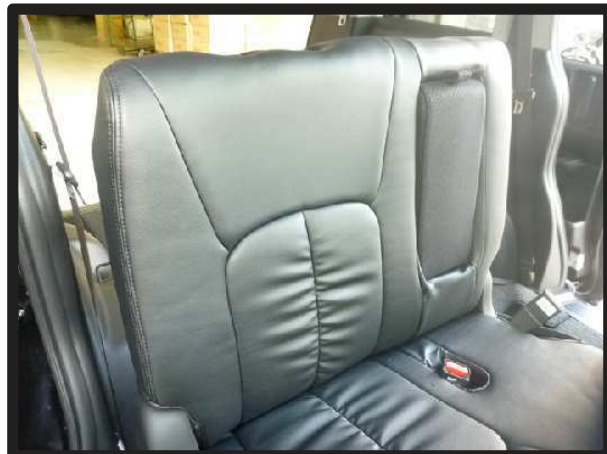
⑥アームレスト下部の生地を入れ込みます。

2列目背もたれ続き・アームレスト

※2列目タンブルシート車



⑦アームレスト収納部のプラスチック部の隙間にヘラ等を使用し、生地を入れ込みます。隙間は大変狭いので、力を入れ過ぎ、プラスチック部を傷つけないよう、ご注意ください。



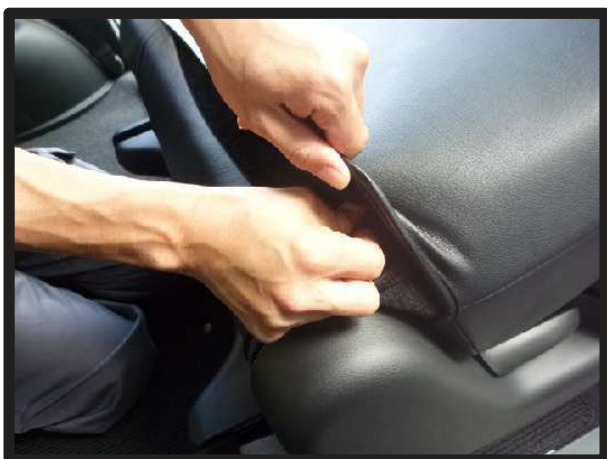
⑩カバーのラインを整え、2列目背もたれの完成です。助手席側は、一部形状が異なりますが同様に取り付けます。



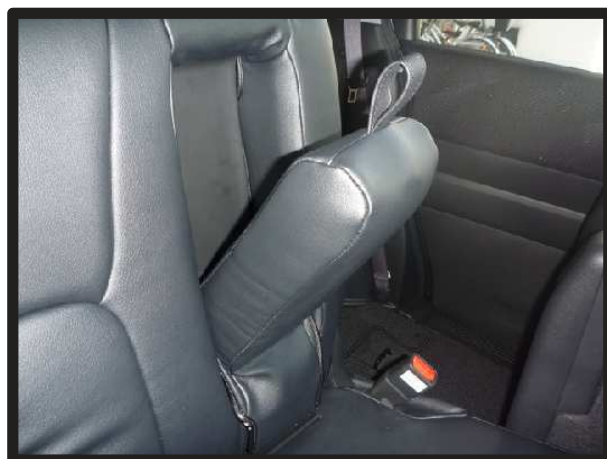
⑧矢印の位置にも生地を入れ込み、シワを無くすようにシートに馴染ませます。



⑪アームレストのカバーを半分ほど裏返した状態で、ラインを合わせかぶせます。



⑨背もたれを倒し、8ページの④で引き出した生地をマジックテープで固定します。



⑫カバーをアームレスト下側までかぶせます。



- ⑬ 背もたれとアームレストの隙間に生地を入れ込みます。
アームレストを前後に動かしながら作業すると、生地を入れ込みやすくなります。



- ⑭ 平らなプラスチック部側を生地とともにフック部に入れ込みます。プラスチック部のみフックに入れ込んでもしっかり固定されませんのでご注意ください。(写真断面図)



- ⑮ 入れ込んだ生地を図のように引き出します。



- ⑯ カバーのラインを整え、2列目アームレストの完成です。



- ⑰ 引き出した生地をプラフックで固定します。



- ⑱ 2列目アームレストを背もたれに収納するとこのようになります。

2列目座面

※2列目チップアップ&スライドシート車



①座面を跳ね上げた状態で、カバーを前側からかぶせます。



④座面裏の生地をマジックテープで直接固定します。



②座面の隙間に生地を入れ込み、マジックテープで直接固定します。



⑤カバーを固定するとこのようになります。



③側面の生地をマジックテープで直接固定します。



⑥カバーのラインを整え、2列目座面の完成です。
助手席側も同様に取り付けます。

2列目背もたれ

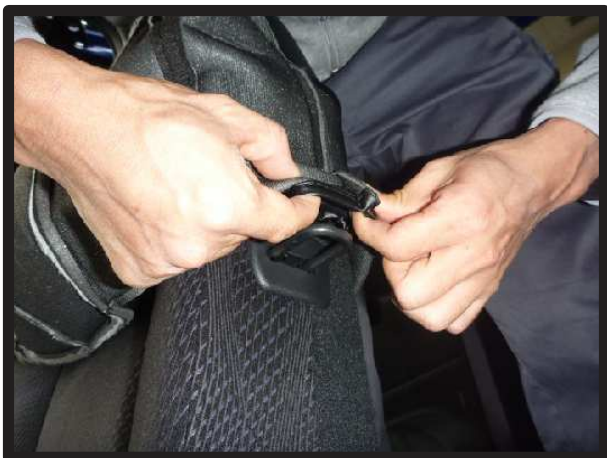
※2列目チップアップ&スライドシート車



①カバーを半分ほど裏返した状態で、背もたれのラインに合わせて、かぶせます。



④背もたれの隙間に生地を入れ込みます。



②運転席側背もたれの内側面にある補助席固定用の金具は、カバーをかぶせる際に、カバーの加工穴から取り出します。



⑤入れ込んだ生地を後ろ側から引き出し、マジックテープで固定します。



③カバーを背もたれ下側までかぶせます。
1列目と同様にヘッドレストの台座を取り出します。



⑥カバーのラインを整え、2列目背もたれの完成です。
助手席側も同様に取り付けます。

2列目座面別パーツ

※2列目チップアップ&スライドシート車



- ①背もたれと座面の間にあるパーツの両脇に付いている生地を取り外します。生地は、背もたれの隙間にマジックテープで固定されています。
※チャイルドシート固定用フックを隠す為の生地ですので、チャイルドシートを固定しない場合は、取り外す必要はありません。



- ②カバーを後ろ側から取り付けます。パーツのラインに合わせて、マジックテープで直接固定します。



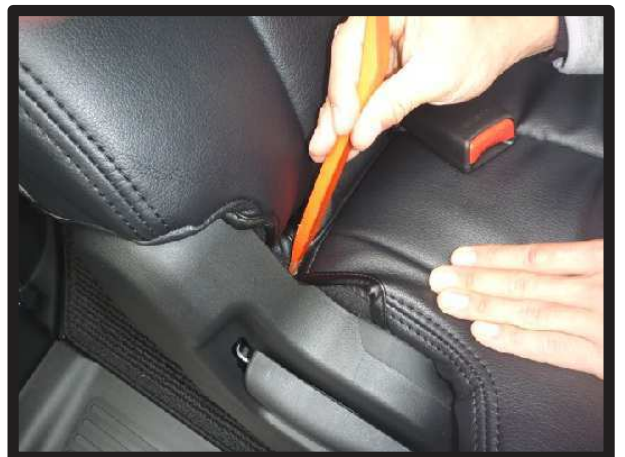
- ③カバーを後ろ側から、背もたれの隙間に入れ込みます。隙間は大変狭いので、背もたれの角度を変えて少しずつ入れ込んで下さい。



- ④入れ込んだカバーを前側から引き出します。



- ⑤引き出したカバーを座面の隙間に入れ込み、マジックテープで直接固定します。隙間は大変狭いので、座面の角度を変えて、少しずつ入れ込んで下さい。



- ⑥カバーが入りにくい所は、図のようにヘラ等を使用し入れ込んで下さい。

2列目補助席座面

※2列目チップアップ&スライドシート車



⑦カバーのラインを整え、2列目座面別パーツの完成です。
助手席側も同様に取り付けます。



①カバーを前側から補助席座面にかぶせます。



②カバー内側面のマジックテープを、
図のように補助席座面のくぼみに巻き付けるように固定します。



③補助席背もたれと座面の隙間に生地
を入れ込みます。

2列目補助席座面続き

※2列目チップアップ&スライドシート車



④14ページの③で入れ込んだ生地を後ろ側から引き出します。



⑦底面の前方の生地も、マジックテープで固定します。



⑤補助席を跳ね上げ、座面の後ろ側で生地同士をマジックテープで固定します。



⑧ヘラ等を使用し図のように、底面のプラスチック部の隙間に生地を入れます。



⑥内側面の生地と、底面の生地も同様にマジックテープで固定します。



⑨カバーのラインを整え、2列目補助席座面の完成です。

2列目補助席背もたれ

※2列目チップアップ&スライドシート車



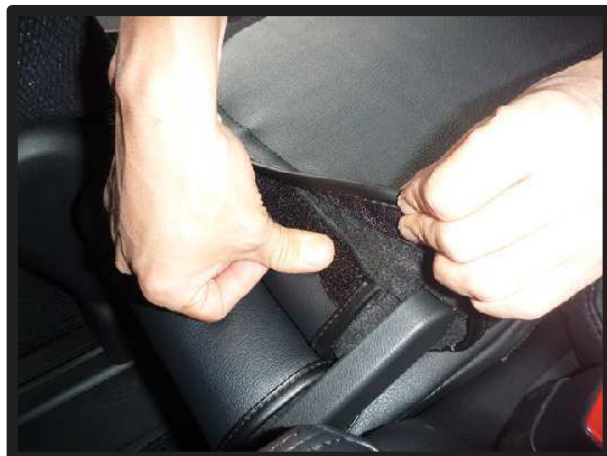
①カバーを半分ほど裏返した状態で、補助席背もたれのラインに合わせて、かぶせます。



④補助席背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



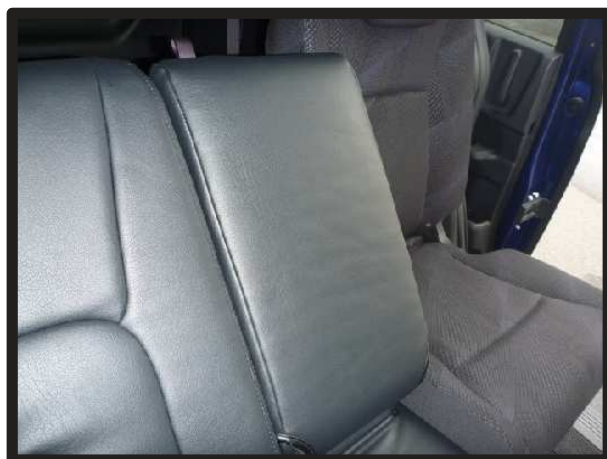
②カバーを下側までかぶせます。



⑤入れ込んだ生地を後ろ側から引き出し、マジックテープで固定します。



③カバーの加工穴から、図のようにストラップを取り出します。



⑥カバーのラインを整え、2列目補助席背もたれの完成です。

3列目座面

※カバー装着によりシートに厚みが生じ、床下格納に多少の影響がでます



①座面のラインに合わせて、カバーをかぶせます。



④入れ込んだ生地を後ろ側から引き出します。



②カバーの加工穴から、シートベルトを取り出します。



⑤引き出した生地の縦に付いているマジックテープでカバー同士を固定します。横に付いているマジックテープは、座面に直接固定します。



③背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



⑥側面の生地を矢印方向に巻きつけるようにし、マジックテープで座面下に固定します。



⑦前側の生地を、図のように座面のラインに合わせて、マジックテープで座面下に固定します。



⑩生地を入れ込むとこのようになります。



⑧前側の生地は、端から順番にマジックテープで座面下に固定していきます。



⑪カバーのラインを整え、3列目座面の完成です。



⑨シートベルト部に生地を入れ込みます。

3列目背もたれ

※カバー装着によりシートに厚みが生じ、床下格納に多少の影響がでます



①カバーを半分ほど裏返した状態で、背もたれにかぶせます。3列目のヘッドレストは取り外せませんので、図のように、ヘッドレストをカバーの加工穴からかわします。サイドエアバッグ装備車は、中央ヘッドレストも同時に交わして下さい。



②カバーを背もたれのラインに合わせてみます。



③リクライニング用ストラップを、カバーの加工穴から取り出します。



④カバーを背もたれ下側までかぶせます。



⑤ヘッドレストの台座部は、図のようにカバーで挟み込むようにして、マジックテープで固定します。



⑥マジックテープで固定するとこのようになります。



⑦背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。
矢印部の生地を入れ込む際は、隙間が大変狭いので、ヘラ等を使用し生地を押し込みます。



⑩側面の生地は、マジックテープで背もたれに直接固定します。



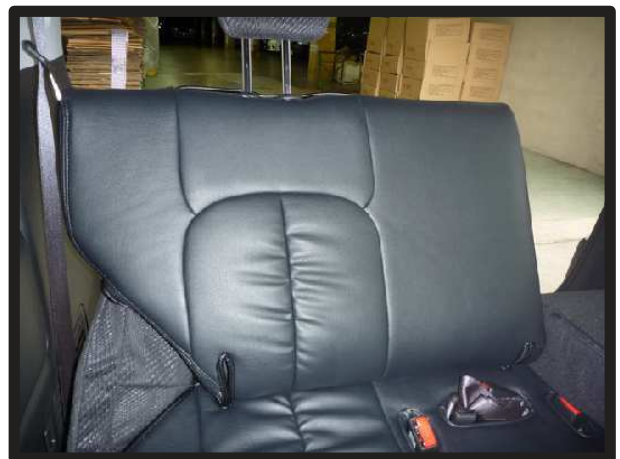
⑧入れ込んだ生地を後ろ側から引き出します。



⑪運転席側背もたれの背面にあるストラップを、カバーの加工穴から取り出します。



⑨引き出した生地をマジックテープで固定します。
⑦の矢印部の生地は、図の矢印位置に固定します。



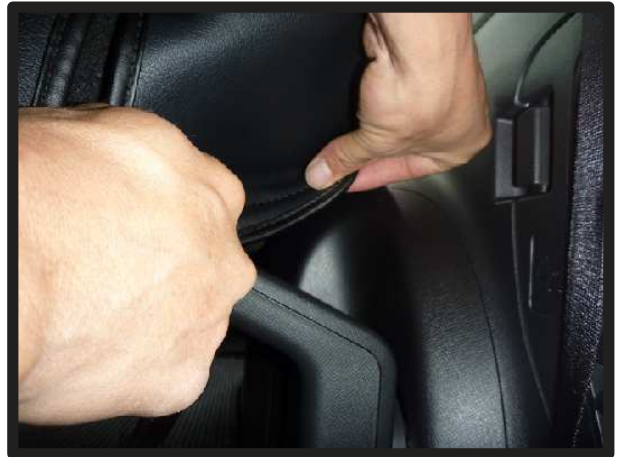
⑫カバーのラインを整え、3列目背もたれの完成です。
助手席側も同様に取り付けます。

3列目サイドパーツ

※タグにSWと表記されているカバーを使用



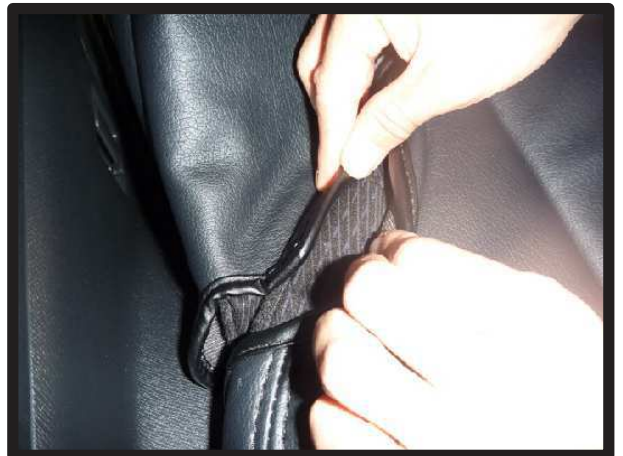
①背もたれと座面をつなぐように付いている生地を包むようにカバーで挟み込みます。カバーの表にマジックテープが付いている方向（赤丸部）が前側になります。



④後ろ側の生地に付いているマジックテープ部を、直接固定します。



②背もたれと座面の隙間に、マジックテープ部を入れ込みます。



⑤前側の生地に付いているマジックテープ部は、図のように背もたれ・座面のカバーをめくった所に直接固定します。



③入れ込んだ生地を後ろ側で、マジックテープで固定します。

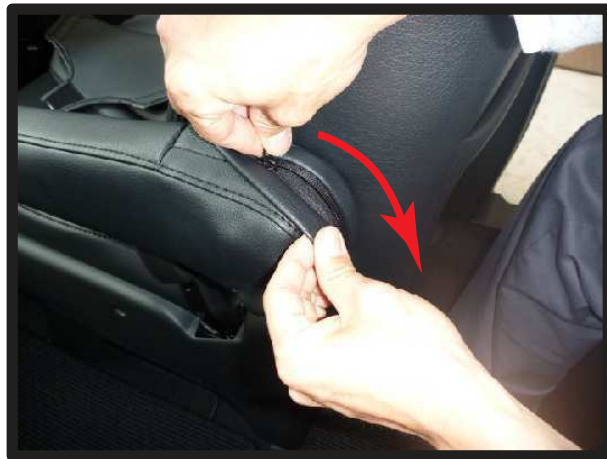


⑥サイドパーツにカバーを取り付けると、このようになります。

アームレスト



① 3 ページの②で取り外したアームレストに、カバーをかぶせます。カバーを半分ほど裏返した状態で、先端までしっかりと入れ込みます。



④ アームレストを元に戻し、プラキャップを取り付け、カバーのファスナーを矢印方向に閉じます。



② カバーをアームレスト内側のみ、かぶせます。



⑤ カバーのラインを整え、アームレストの完成です。助手席側も同様に取り付けます。



③ 取り外した逆の手順でアームレストを元に戻します。

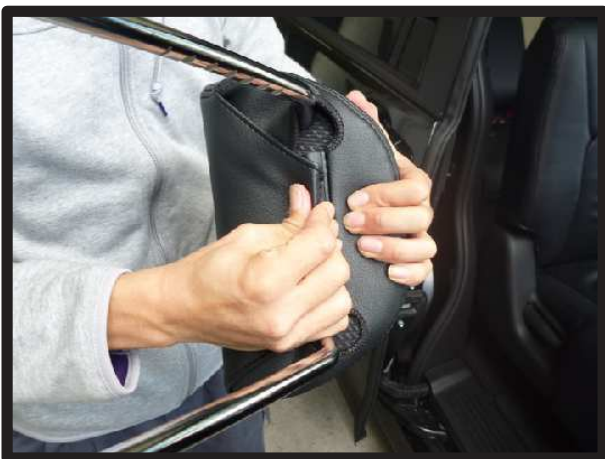
ヘッドレスト



①ヘッドレストカバーの前後を確認してからかぶせます。平らなプラスチック部品が付いている方が前です。カバーを半分ほど裏返し、ヘッドレストのラインに合わせかぶせます。



②合わせたラインがずれないように、カバーを下までかぶせます。



③ヘッドレストを背もたれから取り外し、底面でカバーを固定します。



④平らなプラスチック部側を生地とともにフック部に入れ込みます。プラスチック部のみフックに入れ込んでもしっかり固定されませんので、ご注意ください。(写真断面図)



⑤プラフックを取り付けると、このようになります。



⑥カバーのラインを整え、1列目ヘッドレストの完成です。



⑦ 2列目ヘッドレストは、カバーを前側に引っ掛けるようにかぶせます。



⑧ ラインを合わせながら、矢印方向にカバーをかぶせていきます。



⑨ ③～⑥の手順でカバーを固定し、2列目ヘッドレストの完成です。

※3列目ヘッドレストは取り外せません



⑩ 3列目ヘッドレストは、上に上げた状態でカバーをかぶせます。図のようにカバーに付いているゴムがヘッドレストの裏側にくるようにして、下側からかぶせていきます。

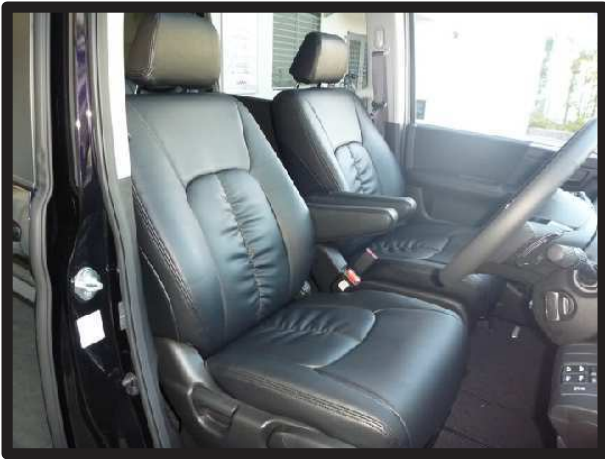


⑪ カバーをかぶせ、プラフックで固定します。



⑫ カバーのラインを整え、3列目ヘッドレストの完成です。

完成図



1 列目



2 列目
(タンブルシート)



2 列目
(チップアップ&スライドシート)



3 列目



3 列目 (床下格納時)

3列目床下格納のコツ

※カバー装着によりシートに厚みが生じ、床下格納に多少の影響がでます



①ヘッドレストを一番下まで下げます。



④床下格納後のロック部分は、カバーの厚みでシートが浮いてきますので図のようにシートを押さえながらロックを掛けます。



②背もたれをロックがかかるまで、前に倒します。カバーの厚みでロックがかかりにくくなっていますので、前に倒す際に、多少の反動をつけるとロックがかかりやすくなります。



⑤床下格納後はこのようになります。



③床下格納時に、ヘッドレストが干渉する時は、図のようにヘッドレストを背もたれ側に押さえます。



<補足>

④の作業を手で押さえても困難な場合は、図のように体重を掛けて押さえるとロックが掛けやすくなります。



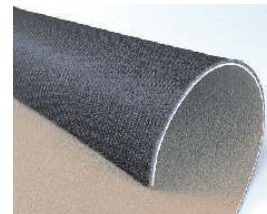
After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

● 1年間保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。

クラッツィオ キルティングタイプ・プロス クラッツィオ
プロスクラッツィオ タイプ2は対象外です。



- 2 シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。

- 3 シートカバーと同色のソフトBioPVCレザーの販売をしています。

(巾135cm・メートル単位での販売となります)
クラッツィオ キルティングタイプは対象外です。



パーツ交換の際、お客様の製品の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

…→ 生地別メンテナンス方法

クラッツィオシートカバーを永くお使い頂くための、生地別シートカバーのお手入れ方法

アルカンターラ・スエード

● ホコリや毛羽などの付着汚れ

エチケットブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

● 全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯にしみこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケットブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

このお手入れは月一回くらいの頻度で行うと効果的です。



本革パンチング・ECTの本革部分

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。

または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。

クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などにつけてから(クリーナーの説明書に従ってください)、また使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。

万が一変色したり風合いが変わってしまったりした場合、元には戻りません。

⚠️ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合にはすぐにふき取り、お手入れを行ってください。長時間放置しておくと汚れやシミが取れなくなってしまいます。表面に積もったほこりは汚れの原因になります。掃除機でこまめに吸い取ってください。



PVCLレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。

それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いたウエス(布)で乾拭きしてください。



Elazzio

SEAT COVER

クラッツィオ商品について詳しくは、ホームページをご覧ください。

www.11i.co.jp



「快適カーライフ空間創造企業」

ELEVEN
INTERNATIONAL

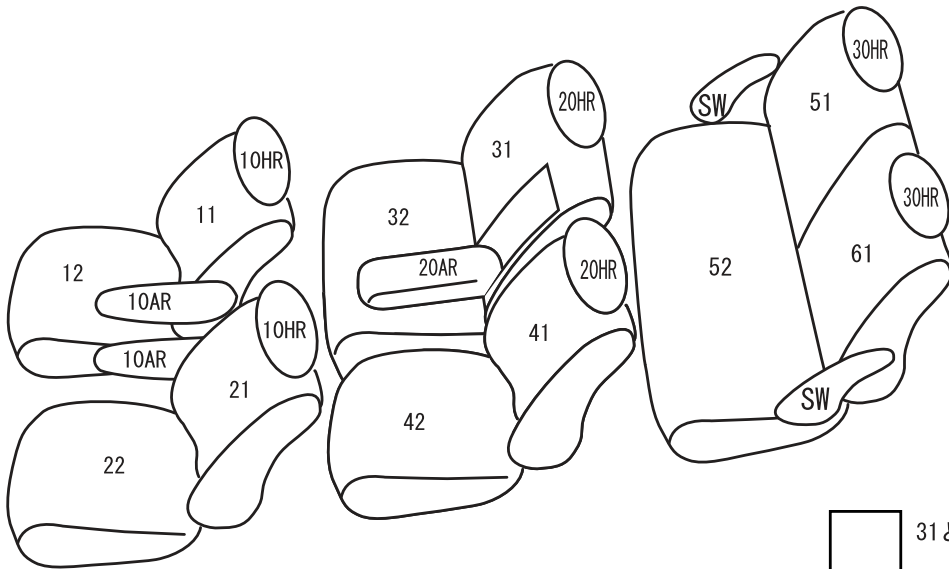
株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

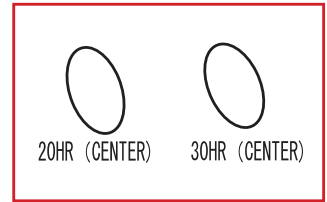
TEL 072-330-8000

FAX.072-330-8816

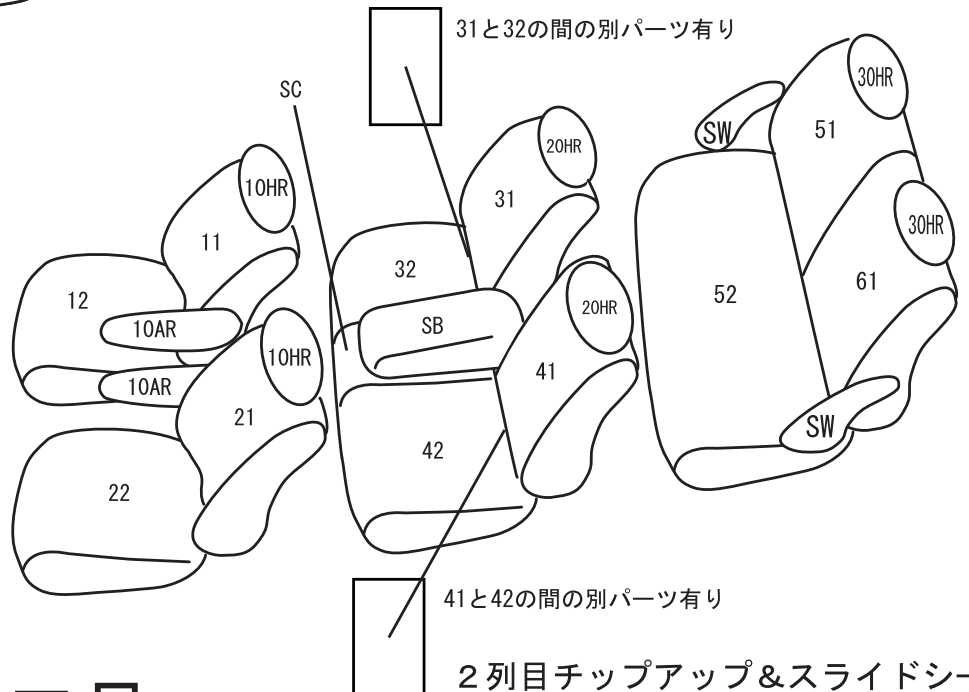
本製品シート形状とパーツの名称



※サイドエアバッグ装備車用には下のパーツが追加されます



2列目タンブルシート

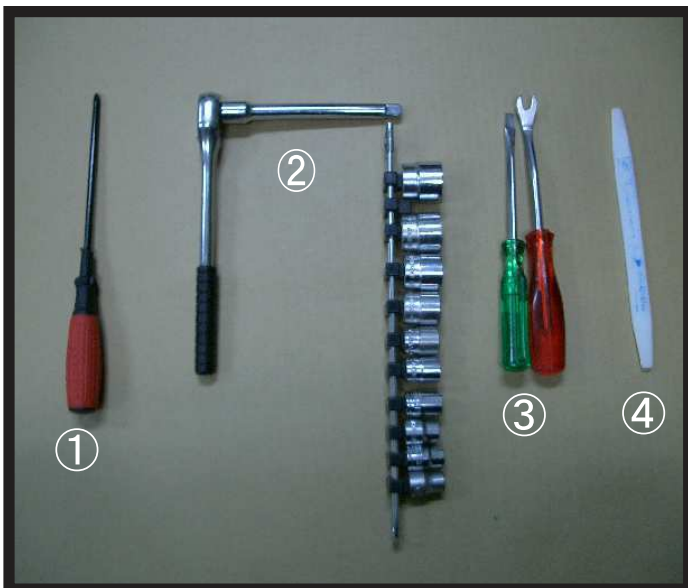


31と32の間の別パーツ有り

41と42の間の別パーツ有り

2列目チップアップ&スライドシート

取付必要工具



工具名

- ① 十ドライバー
- ② ソケットレンチセット
- ③ ードドライバーまたは内張り外し
- ④ ヘラ

*この車種では、①と②の工具を使用します。

*この車種では、③の工具は使用しません。